

への問い合わせや紹介状の確認等に時間を要する。持参薬の取り扱いは、患者の氏名、診療科、持参薬の薬名、用法・用量等の入力（記載）や薬歴に記載し、重複投与、薬物間相互作用等の処方せんの解析・評価に多くの時間を要する。持参薬の与薬は、1回服用ごと与薬トレイに調剤済薬と一緒に持参薬を取り揃えるのに時間を要する。この調査結果より、持参薬の管理の仕方によって所要時間は異なるが、仮に1人の薬剤師が1回の持参薬の管理に要する時間を107分とすると、1日4.5人の患者の持参薬管理で終わる計算になる。これらの業務は人手と時間を要することから全ての患者に応えられていないことが現況である。

持参薬の種類		事例1 8種	事例2 2種	事例3 12種	事例4 27種
持参薬の鑑別	「持参薬鑑別依頼書」と入院患者の持参薬を受け取り、薬剤を整理(名称・数量を確認)する。	5	2	7	15
	散薬、無印等で鑑別できない持参薬は、他院に問い合わせ又は紹介状の確認をする	6	—	—	2
	持参薬を鑑別し商品名、規格、一般名、薬効、重複投与、併用禁忌、代替薬などを記載した一覧表を作成し医師に情報提供をする。	12	3	15	29
	鑑別した持参薬を薬袋に戻し、返却する	2	1	3	5
	合計実施時間	25	6	25	51
持参薬の取り扱い	持参薬を継続して服用する連絡を受ける	—	1	1	1
	患者と面談し、持参薬の服用状況などを把握する。	—	2	8	10
	継続する持参薬に基づき医師・看護師と持参薬の交付の仕方について打ち合わせをする。	—	2	3	5
	継続服用する患者の氏名、診療科名及び持参薬の商品名、用法・用量、投与開始日、投与時間などを入力(記載)する。	—	5	15	15
	薬歴に記載し、継続服用する持参薬を解析・評価する。	—	2	7	10
合計実施時間	—	12	34	41	
持参薬の与薬	持参薬を自己管理できる患者には、持参薬の1包化又は新しい薬袋などに整理して交付する。	—	—	—	15
	1回服用ごとの与薬トレイに7日分の持参薬を取り揃える(鑑査も含む)。	—	2	15	—
	薬歴確認後、翌日与薬するトレイをカートにセットして払い出す(鑑査含)。	—	14*	14*	—
	持参薬についての代替薬等について担当医と協議する	—	3	3	—
	合計実施時間	—	5	18	15
全実施時間		25	23	77	107

単位:分

*:1日ごとセットするため7日分の値

表4 持参薬管理の実施時間